ワクチンについて正確な情報の周知を

伊藤　央議員（一人会派の会）

新型コロナウイルス感染症に関して正確な情報の周知を

質問　①これまでの市の陽性確認者数は約千人で市民の約0・5％に当たる。感染し発症する人はさらに少なく、重症化する人もごく僅かだが間違いないか。

②5月12日の国の発表ではワクチン接種後の死亡者39人、重篤な副反応報告は642件だが、このような事実を周知すべきでは。

③ワクチンの効果持続期間は。

④ワクチンが今後の変異株に有効でない場合、また数種類の変異株への感染が同時に拡大した場合、数種類のワクチン接種が必要となるのか。

市長　①東京都からは、個々の症状などの詳細な情報は提供されないため、把握していない。

②市民が自身で判断できるための情報提供は重要である。様々な要望を聞く中でどのような情報提供ができるか研究する。

③現在、日本で薬事承認されている3つのワクチンは、効果の持続性が明確にされていない。

④ワクチンの有効性など各メーカーや様々な研究機関において分析が進められている。

【掲載分以外の質問項目】

○市の危機管理体制と市長の意識を問う

○市として重症者抑制と後遺症者の回復に取り組め

子どもの貧困に寄り添う食の支援／新たな公共交通体系の構築

山岸真知子議員（市議会公明党）

子どもの貧困に寄り添う食の支援の充実を

質問　①江戸川区のおうち食堂[※4]など支援が必要な家庭に対するアウトリーチでの取組の検討は。

②貧困対策を進めるための市の計画における位置づけは。

市長　①おうち食堂は貧困等が心配される子どもに確実に支援を届けることができ、市の考える家庭支援の在り方にも合致する。要支援家庭に適切に対応できる担い手の確保等が課題と捉え、引き続き検討していく。

②子ども・若者計画に子どもの貧困の解消に資する施策を掲げ、計画の一部を子どもの貧困対策として位置づけている。

新たな公共交通体系の構築に向けて具体的な取組を示せ

質問　①新たな公共交通体系の検討を急ぐべきだが、見解は。

②コミュニティタクシーの土日、夜間運行実施への考えは。

市長　①社会状況の変化等を捉え将来を見据えた新たな視点で公共交通体系の再構築が必要である。今後、基本的な考え方の総括等を行い市の特性等に即した地域公共交通を検討していく。

②要望は認識しているが、財源の確保などに課題があるため、運賃の在り方を含めた総合的な視点での検討が必要である。

鎌倉公園整備計画について／中学校給食への異物混入について

岡田しんぺい議員（フォーラム小平）

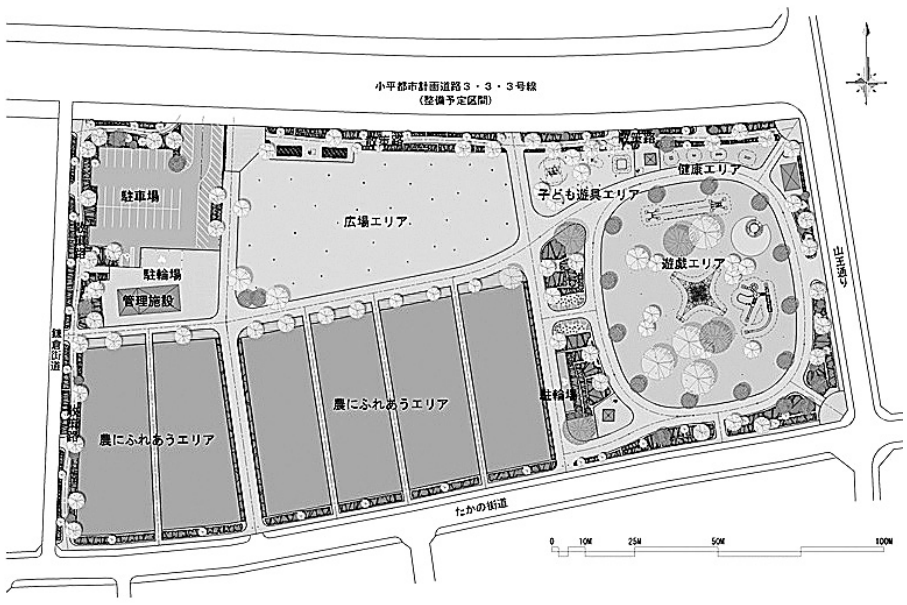
鎌倉公園整備計画について

質問　①計画対象範囲にある農地は農にふれあうエリアの畑などにそのまま利用できるのでは。

②直売所は常設するのか。

市長　①鎌倉公園整備基本計画において、既存農地の一部を活用し、農にふれあうエリアとして農風景を保全するとともに、短冊状農地を生かした小平らしい農を楽しむことなどができる空間を整備することとしている。

②市民からの要望も多く、農業エリア整備プランの策定に当たり、整備内容及び運営管理体制等を踏まえて検討していく。



鎌倉公園整備計画の基本計画図（鎌倉公園整備基本計画より抜粋）

小平市立中学校の給食への異物混入について

質問　①給食調理事業者の選定は適正だったか。

②給食調理事業者側及び市の対応や対策は。

教育長　①調理配送能力、衛生管理体制等を考慮しており、適正な選定であったと考えている。

②事業者においては当日中に工場全体の消毒作業を行い、今後の消毒回数を増やす等の対策を行っている。教育委員会としては所管保健所の調査に同席し、事業者に衛生管理体制の改善を強く求めた。今後は栄養士による状況確認を入念に行っていく。

動物と人の共生を／市民の雇用確保と多様な働き方の実現を

石津はるか議員（政和会）

動物と人が共生できる地域づくりを目指して

質問　①動物保護ボランティアを行う市民の資金・労力の面での負担軽減が必要だが、見解は。

②地域猫活動やペットの適正飼育問題を地域で解決できる仕組みを整えるべきだが、見解は。

市長　①ボランティア活動を行う人たちの意見を聞くとともに、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助の実施や、民間団体が実施する補助事業の活用等により、負担軽減を図っていく。

②地域の課題は地域が主体となって取り組むことが重要と捉えている。地域住民に対する周知等を図り、住民、ボランティア活動団体等との連携に努める。

市民の雇用確保と一人ひとりに合った多様な働き方の実現を

質問　①現在の市民の就労状況と市内の雇用状況の課題は。

②市内にテレワーク可能な仕事を集積させ、雇用創出を図ることも考えられるが、見解は。

市長　①離職を余儀なくされ、不安を抱えている人もいる。一方で人手不足の業種などもあり、人材マッチングも課題である。

②こだいらコワーキングスペースすだちではテレワーカーの登録等を行っており引き続き市報等で情報提供等を行っていく。

87の政策／女性管理職50％は撤回を／体育館へのエアコン設置

橋本久雄議員（一人会派の会）

市民との約束である87の政策の進捗状況を年度ごとに公表せよ

質問　市民とつくる87の政策の実施状況を年度ごとに公表できないか。

市長　公表する考えはない。

女性管理職の割合50％は撤回し、30％目標を目指せ

質問　①女性管理職50％の目標は撤回し30％を目指すべきでは。

②男性管理職の育児休業取得率は。

③管理職が定時後職場にいる年間平均422時間を、一般職並みに下げる目標が必要では。

市長　①令和7年度に管理職の女性比率30％を目指しており、その上で市民とつくる87の政策に掲げた目標に向けて努力する。

②平成27年度から令和元年度までの5年間ではゼロ％である。

③縮減するよう取組を進める。

市立小・中学校体育館へのエアコンの設置について

質問　①庁内での検討状況は。

②設置費用は。

③市長任期4年間で事業を行う考えは。

教育長　①機種、設置方法、財源などを検討している。

②1校当たり約3千万円。

③早期の導入の着手に向けて検討を進めていく。

高齢者のワクチン接種／コロナ禍の高齢者・障害者諸施策

鈴木だいち議員（日本共産党小平市議団）

高齢者の新型コロナワクチン接種について

質問　①避難行動要支援者登録名簿に登録されているワクチン接種希望者への積極的な支援は。

②集団接種会場や医療機関へ行くことが困難な高齢者に対する訪問接種を進めていく方針は。

市長　①状況に合わせて近くの医療機関の紹介等、接種がスムーズに進む方法を検討していく。

②会場等へ行くことが困難な人が一定程度いると認識しており、現在、方法を検討している。

コロナ禍における高齢者・障害者諸施策について

質問　①6月30日が申請期限となっている、高齢者・障害福祉施設への衛生用品、備品等購入補助とPCR検査費用補助を継続・拡充する考えは。

②高齢者・障害福祉施設職員への慰労金の支給を、引き続き提案するが見解は。

市長　①東京都の令和3年度6月補正予算案によれば、7月以降も事業の実施が見込まれていることから、引き続き都の補助を活用した事業を検討していく。

②慰労金の支給予定はないが、PCR検査費用補助等している。

【掲載分以外の質問項目】

○国の施策に基づく市の保育政策を問う

高齢者館で水分補給環境の整備／小学校体育着に関するルール

吉本ゆうすけ議員（フォーラム小平）

高齢者館で水分補給できる環境整備を早急に行うべき

質問　①給茶機撤去の経緯は。

②高齢者が利用する施設で水分補給ができないことは、これからの季節を考えると危険では。

③給茶機再設置への見解は。

④自動販売機の設置は。

市長　①水分補給として健康促進の観点から設置したが、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策強化のため撤去した。

②各自飲物を持参してもらうことを周知していく。

③現在の感染状況では困難であると考えている。

④設置場所等の課題もあるが、利用者の意見も聞いていく。

小学校における体育着に関するルールについて

質問　①体育着の下の肌着着用を禁止しているか。

②各学校の指導状況は。

③体育着の持ち帰りの指導は。

教育長　①教育委員会では肌着の着用を禁止していない。

②全ての市立小学校で、児童の心情や保護者の意見を踏まえ、体育着の下に肌着を着用してもよいと指導している。

③市立小学校への一律の指導ではなく、各学校で衛生面等を踏まえ指導している。